

令和元年度

橋北地区まちづくり通信

令和2年4月1日第3号（第7号）

橋北体育振興会紹介

●橋北体育振興会とは何をしている団体？

体育振興会は自治会と地域活動のスポーツ推進を担っています。5月ソフトボール大会、6月、10月には世代間交流活動として小中学生とともにグランドゴルフ、ペタンク大会、8月バレーボール大会、9月健民祭、2月には吾妻山ハイキングを開催し大勢の参加者とともにスポーツを、和気あいあいと楽しんでいます。

健民祭は昭和46年に小田原市と合併し、来年2021年には50周年を迎えます。最近では健民祭に参加しない地区が多く見かけられます。

が、紅白の玉入れ、タクみ、ラクビー、バレーボール、バレー、ボールを使った簡単な競技も多くあります。ぜひ、自分のできる競技を見つけ、地区体育委員と相談し、多くの種目に参加して健民祭を楽しんでください。

活動面では、小田原市の開催するスポーツ行事の参加支援があります。市民総合体育大会や駅伝競走大会の参加、ツーテーマーチや子供レクリエーション、尊徳マラソン等の支援を行っています。次に川東体育連盟の行事参加です。川東とは酒匂川から東の10体育振興会が集まり、毎年、婦人バレーボール、ペタンク、駅伝競走大会等を開催しています。

●交通安全協会橋北支部とは何をしている団体？

小田原交通安全協会橋北支部は、自治会連合会長、下中駐在、支部長など9名の役員と各自治会から選出された理事20名によって組織され、自治会との連携で運営されています。主な活動は、毎月15日高齢者交通安全日街頭監視、年2回のカーミラー等の掃除点検、下中小学校バスバー時の自転車点検、神輿渡御、社協主催「早朝みんなで歩こう会」、健民祭、橋商工工会主催「みんなの花火」、JA下中玉ねぎオーナー行事など橋北地区における各種行事の交通整理など交通事故防止にかかる活動を行っています。

神輿渡御交通整理

自転車点検

- 音と楽しちう！音楽フェスティバル IN タチキタ
11月10日、橋タウンセンターこゆるぎにて行いました。第1部は音に関する実験、体験コーナーと題し、ストロー笛、鳴き声コッなどを分科会メンバーである講師の指導のもと作成して実演するなど楽しくもタメになる内容でした。第2部は、橋中学校吹奏楽部の演奏の後に「ヤングマンを皆で演奏しましょう！」と、呼びかけがあり下中小学校から借りりした楽器類を手にした参加者との一体感のある演奏会となりました。参加したみなさんから楽しめたという感想を頂いたことで、来年度も音楽フェスティバルとして、さらに充実した内容を企画していく予定です。
- AMラジオ工作教室
2月8日、下中小学校にて実施しました。電波適正利用推進員の岡野氏をはじめとした指導の下、電波の仕組みやAMラジオの作り方を学んだ後は、いざラジオ制作に！慣れないと半田付けの作業を指導員に教えてもらいながら、次々にラジオキットが完成。ラジオから聞こえると、歓声があがっていました。記念撮影後に書いてくれたアンケートには、「来年も参加したい」「電波のことが分かりたがった」といった声を多くいただきました。
- 下校時みまもり隊
年間を通して下中小学校の下校時の見守りを行う「下校時みまもり隊」の活動を行ってきました。児童の安心・安全な見守りのため、ボランティアとしてできることに行っています。
- 見守り拠点分科会
1月26日中村原ふれあい広場での、風揚げ大会が雨のために中止になってしまったため、地域関係者の有志にて2月2日晴天の下開催しました。風揚げには良い風に恵まれ、子供たちは素さを吹き飛ばすかのように元気よく、多くの凧を天空に上げ歓喜をあげて、35名の参加者に楽しんで頂きました。
- 毎月第4土曜日13時から16時まで下中老人憩の家で、分科会のメンバーが交代で、地域の子どもたち（しかもなっ子）が安心して楽しめる居場所を提供し、オセロ、将棋、黒ひげゲーム、音の伝承遊び等々、地域ぐるみで見守り、一緒にわいわい楽しんできましたが、拠点から遠い子どもたちが参加できず等の要因から、参加者も当初の15人から減少し続け最近では1～2名の現状となり、解決策も見いだせず、残念ではありますが今年度が今年度が今年度が今年度となります。



交通安全協会橋北支部紹介



橋北地区まちづくり委員会では、今後も、地域の課題解決に向け取組を進めています。

風揚げ大会は文化・教育分科会で令和2年度も開催予定です。